

福井県文書館(1/2)

文書館は 福井の歴史とあなたをつなぐ かけ橋となります

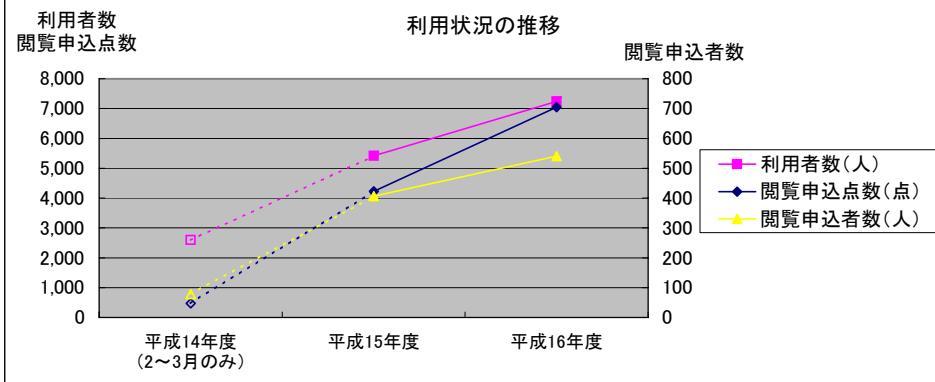


所在地	福井市下馬町51-11		
設置年月日	平成15年2月1日		
施設の種類	文書館	施設管理主体	県
設置の目的	県民共有の歴史的文化遺産である貴重な歴史的公文書その他の記録資料を円滑に収集保存し、これに関する研究を行い、広く一般に公開して閲覧利用に供するとともに、県民の歴史探求、生涯学習を支援するために普及啓発を行う。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上2階、延床面積3,119㎡ 収蔵冊数 歴史的公文書2万8千冊、古文書複製本2万9千冊、行政資料1万400点		
職員数	正職員6人 非常勤嘱託5人 アルバイト2人 計13人		

利用状況等	文書館		
	平成14年度 (2~3月のみ)	平成15年度	平成16年度
利用者数(人)	2,597	5,417	7,242
閲覧申込点数(点)	476	4,227	7,045
閲覧申込者数(人)	78	406	540
ホームページアクセス数		737,160	733,759

利用者負担(利用料金)等

施設使用料	研修室(全日)	6,600円
	複写手数料	
	白黒	10円
	カラー	80円



利用状況の推移
平成15年2月の開館から2年が経過し、平成16年度は前年度比137%の7,242人の利用がありました。各種講座や講演会も盛況で、古文書入門講座45名、古文書読解講座52名、資料保存研修会35名など、ほぼ毎回定員がそれ以上のご参加をいただき、好評を得ています。また、来館しなくてもホームページの検索や刊行物の閲覧ができるため、ホームページのアクセス数は年間733,759件にのぼり、毎日平均2,000件以上のアクセスがあります。

16年度の特徴について

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 講座・講演会の実施と参加人数 古文書入門講座(計3回)のべ107人、古文書読解講座(計3回)のべ109人 資料保存研修会「薬剤にたよらない紙資料の保存」32人 県史講座「芝原上水と福井城下」61人、「福井県の中世文書」41人 講演会「江戸時代庶民の破産と再興」93人 リーディング講習会 42人 計485人 閲覧室展示「あらぶる・うるおす川ー水利の記録ー」 資料の公開 公文書 18,864件(前年度末からの増加率314%) 古文書 8,987件(同 108%) 行政刊行物等 672冊(同 108%) 古文書寄贈5家1,871点、寄託4家991点 福井豪雨に際しての取組み 被災地域内の古文書等資料の状況確認、被災市町村・資料所蔵者への資料救出依頼、被災資料の応急措置514点
------	---

講座・講演会の実施

古文書入門講座や資料保存研修会、講演会などの各種行事は毎回好評を得ており、計485名の方にご参加いただきました。



古文書入門講座

出版物等

以下の出版物等は文書館のホームページからもご覧になっていただけます。

* 文書館HPトップページの「出版物」をクリックして下さい。

- 『福井県文書館年報 第1号』
- 『福井県文書館研究紀要 第2号』
- 『元禄期越前の幕府領大庄屋日記 1』
- 『文書館だより』第4号
- 『文書館だより』第5号



福井豪雨に際しての取組み

7月の福井豪雨の際には、被災地域の古文書等をリストアップし、状況確認を進めるとともに、被災市町村の担当者あてに資料救出の呼びかけを行いました。

また、資料救出のために「福井史料ネットワーク」が発足し、当館では5資料群514点の応急措置を行いました。



水損資料の応急措置

福井県文書館(2/2)

行政コスト計算書(平成16年度) (単位 千円)

		総額	構成比
人にかかるコスト	人件費	71,161	47.5%
	退職給与引当金繰入	▲ 1,687	-1.1%
	計	69,474	46.4%
物にかかるコスト	物件費	49,848	33.3%
	維持補修費	1,165	0.8%
	減価償却費	13,491	9.0%
計	64,504	43.1%	
その他	公債費(利子)	15,779	10.5%
	その他	0	0.0%
	計	15,779	10.5%
合計		149,757	100.0%

バランスシート(平成17年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	619,069	固定負債	1,264,271
投資等	0	流動負債	60,263
流動資産	0	正味資産	▲ 705,465
計	619,069	計	619,069



閲覧室風景

施設の特徴
 文書館では、福井県の歴史を知る上で重要な公文書や古文書などを収集、保存し、県民の皆様が閲覧できるようにしています。
 ホームページでは公開されている資料を検索することができ、刊行物を読むこともできます。また、多くの方に福井の歴史や歴史資料に触れていただけるよう、古文書読解講座、講演会、企画展示など様々な行事も行っています。

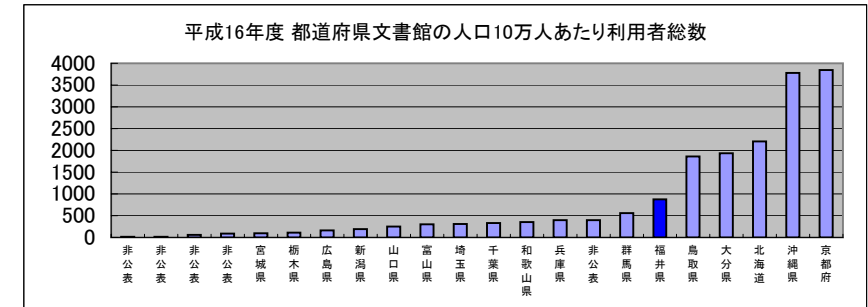
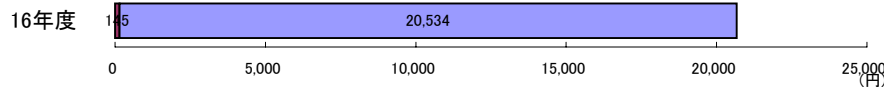
今後の課題
 ・文書館の認知度を高め、より多くの方に利用してもらうこと
 ・より多くの資料を公開していくため、資料公開作業の効率化とコストの削減に努めること

(単位 千円)

収入			
利用料等収入	1,052	0.7%	
その他収入	1,073	0.7%	
一般財源	147,632	98.6%	

利用料等収入計	1,052,000 円
利用者1人あたり平均利用料	145 円
利用者1人あたりコスト	20,679 円

利用者1人あたりのコスト負担の状況



バランスシート、行政コスト計算書の特徴
 施設の設置が平成15年と新しく、減価償却費や公債費の割合が高くなっており、支出の約五分の一を占めています。
 また、県の貴重な歴史資料を永く後世に伝えるためには膨大な資料の整理と適切な保存環境の維持が不可欠であり、そのための人件費と物件費にコストがかかっています。



古文書複製本



公文書

今後の事業方針
 より多くの方に文書館を知ってもらい、利用していただけるよう、以下の取組みを行っていきます。
 ・広報活動の充実
 ・さらなる資料の公開
 ・学校教育との連携
 出張授業、インターンシップの受入、授業での文書館利用など
 ・児童生徒向けの行事など、若い方が利用するためのきっかけづくり
 ・好評を得ている講座などの構成や開催回数の改善

取組み内容
 平成17年度には以下の取組みを行っています。
 ・出張授業の提供(県立高校の日本史の授業)
 ・インターンシップの受入
 ・中学生の新聞作りの宿題に合わせ、館をPRする「文書館新聞」を学校へ配布
 ・古文書入門講座を入門講座と初級講座に改編
 ・古文書相談会の実施
 ・古文書を読む自主グループの活動支援